

7. 障害者の新たなしごとの創出

【背景】

国の社会保障制度は週 20 時間以上の就労を対象にしているが、障害者のなかには障害特性から長時間就労や就労継続が困難な場合がある。障害者の社会参加の促進と事業主の人手不足解消等のためにも週 20 時間未満の超短時間雇用や ICT を活用した就労など、障害者の新たなしごとの創出が必要となっている。

このため、平成 28 年度から東京大学先端科学技術研究センターと連携し、週 20 時間未満の超短時間雇用の促進に取組み、短時間雇用創出コーディネーターの配置（H29～）、垂水駅前地区での試行的な超短時間雇用の取組み（H30～）などをおこなっている。この取り組みでは、飲食・食品小売店舗を中心に仕事の切り出しと障害者のマッチングを行った結果、事業主にとっては人手不足の解消や時間の創出となり、障害者の社会参加の糸口となるなど、双方にとって有益な結果となった。

また、平成 29 年度に「しごとサポート ICT」を開設し、ICT を活用した新たな就労支援を行っている。

【平成 30 年度実績】垂水駅前地区での職場開拓 4 件（垂水食品衛生協会加盟店舗）
うち雇用 2 件、B 型事業所の施設外就労 2 件

【事業概要】（令和元年度予算額 46,450 千円）

（1）障害者の新たなしごとの創出（37,950 千円）

- ・これまで実施してきた超短時間雇用の取組みを発展させ、障害者だけでなく、生活困窮者や就労に一定の配慮が必要な方にも対象を広げ、業務の切り出しとマッチングを進める。
- ・ICT の活用による多様なしごとの創出を拡大し、神戸アイセンターと連携した視覚障害者の雇用促進など新たな展開も検討していく。

（2）垂水プロジェクトの展開（8,500 千円）

- ・垂水駅前地区で試行的に実施した超短時間雇用の取り組みから、障害者が住み慣れた地域で多様な働き方ができるよう、垂水駅前地区と連携した事業を実施する。
- ・①障害者を中心に地域の方が集う場所、②交流スペース、③障害者及び事業主からの就労に関する相談の場、④ふれあい商品（障害者施設が製作した商品）のセレクト販売の場、等の機能をもつ「クラブハウス」の開設を検討する。「クラブハウス」を活用し、障害者や障害者のしごとに対する理解を求め、さらなるしごとの創出につなげる。
- ・垂水アウトレットと連携し、さらに障害者の雇用の創出とまちのにぎわいづくりにつながるよう事業展開を図る。
- ・上記の内容を地域と一体となって事業を進めるために、行政・地域・学識経験者・障害福祉事業所等が参加したプロジェクトチームを設置し、総合的な検証を行い、障害者の雇用拡大とまちの活性化をめざす。

【事業効果・目標数値】

- ・垂水駅前地区において障害者等の新たなしごとを創出することで、障害者の社会参加を促進するとともに、事業主の人手不足の解消を図ることができる。
- ・ICT を活用することにより、在宅就労等の働き方が拡充し、視覚障害者の幅広いしごとの選択につなげることができる。

【事業スケジュール】

令和元年5月～令和3年3月

プロジェクトチームを設置

- ・超短時間雇用の拡大（垂水駅前地区、視覚障害者）
- ・クラブハウスの開設検討
- ・アウトレットと連携した事業展開

令和3年度中 事業効果・課題の検証、全市的な展開に向けた検討